

広西チワン族自治区および主要都市の経済概況(2016年)



【地理・歴史】広東省、湖南省、貴州省、雲南省に隣接。南部はベトナムと国境を接し、友誼関をはじめ、複数の陸路による出入国エリアを持つ。チワン族(人口の約3割)、ヤオ族、ミャオ族等12の少数民族が居住。面積の約70%が山地・丘陵・石山。

【経済・産業】柳州市の「上海通用五菱汽車」など自動車関連産業が発展、完成車生産量は年間200万台超で全国上位。鉱物資源が豊富でマンガンなど12種類の鉱物は埋蔵量は全国1位。アンチモン、銀、チタン、ボーキサイト、タングステン等も上位。砂糖、セメント、鉄鋼などの生産が盛ん。観光地として桂林が著名。

【その他】地理的な優位性を活かし、ASEANとの間を結ぶ港湾や高速道路などのインフラ整備が進む。2004年から南寧市で「中国・ASEAN国際博覧会」を開催、毎年、中国政府を含む各国政府要人が出席。ベトナムとの関係が強く、国境周辺の住民・企業を対象とし関税などを優遇する「辺境貿易」が盛んで、貿易額全体の約45%を占める。2017年1月に「広西中越跨境労務合作試点工作方案」を公布、ベトナム側住民の中国側試験地点での就業手続きを簡素化。既に4,000人以上が中国で就業。

【日系企業】南寧市、柳州市を中心に製紙、化学品、電子・電機など約10数社。

	単位	広西チワン族自治区	対前年増減	全国に占める 広西チワン族自治区 の割合	南寧市	対前年 増減	広西チワン族 自治区省に占める 南寧市の割合	柳州市	対前年 増減	広西チワン族 自治区に占める 柳州市の割合
面積	万km ²	23.8	—	2.5%	2.2	—	9.3%	1.9	—	7.8%
常住人口	万人	4,838	—	3.5%	706	—	14.6%	396	—	8.2%
GRP	億元	18,245	7.3%	2.5%	3,703	7.0%	20.3%	2,477	7.3%	13.6%
うち第1次産業	億元	2,799	3.4%	4.4%	401	3.9%	14.3%	180	3.5%	6.4%
うち第2次産業	億元	8,220	7.4%	2.8%	1,427	5.8%	17.4%	1,362	5.7%	16.6%
うち第3次産業	億元	7,227	8.6%	1.9%	1,876	8.5%	26.0%	935	10.4%	12.9%
固定資産投資	億元	18,237	12.4%	3.0%	3,825	13.6%	21.0%	2,339	14.0%	12.8%
社会消費品小売総額	億元	7,027	10.7%	2.1%	1,980	10.8%	28.2%	1,045	10.7%	14.9%
都市住民一人当たり可処分所得*2	元/年	28,324	7.2%	—	30,728	7.7%	—	30,270	7.4%	—
貿易額*2	億元	3,170	▲0.5%	1.3%	416	14.2%	13.1%	135	▲2.4%	4.3%
うち輸出*2	億元	1,524	▲12.4%	1.1%	211	4.3%	13.9%	46	▲5.0%	3.0%
うち輸入*2	億元	1,647	▲13.9%	1.6%	205	26.6%	12.5%	89	▲1.0%	5.4%
対内直接投資額*2 (実行ベース)	億ドル	9	▲48.4%	0.7%	8	9.8%	86.7%	0.3	72.0%	3.2%

出所：中国統計局、中国中央人民政府網、広西チワン族自治区統計局、南寧市情網、南寧市統計局、柳州市統計局 (※1 各数値は小数点以下、%は小数点第二位以下を四捨五入している。 ※2 GRP伸び率は実質。)